

アート

インスピレーションの地

大聖堂の正面、クロード・モネのアトリエ^⑥やセヌ河畔の周辺の村々では、画家たちが無尽蔵のインスピレーションの源を見つけた。それらの印象派の傑作がルーアン美術館^⑭に展示されています。ルーアン市とルーアンメトロポール(周辺市町村)には、美術を愛する方たちにお楽しみいただける無料の美術館が数多くあります。考古学博物館^⑮と自然史博物館^⑯は、かつての修道院があった建物に、陶磁器博物館^⑰は17世紀のお屋敷に設置されています。

鉄工芸が好きな方には、ル・セック・デトゥルネル美術館^⑱がおすすめで、世界最大のコレクションを誇る教育博物館^⑲も、学生時代を懐かしむ人には魅力的でしょう。古い工芸品や陶磁器は骨董品店が集まる地区のウィンドウに並び、サン・マルク回廊^④には、ファイアー・アートギャラリー^⑤が生まれ、周辺の田舎地帯には、サン・ジョルジュ・ド・ジュエヴィル修道院^⑭からジュ・ミュージュ修道院^⑮などのロマネスク建築の修道院へと続く巡礼道になっています。

アートギャラリーにおける現代アートの創作活動が、この影響力をさらに強めています。FRAC(現代アート財団)^⑳、ルーアン・ノルマンディー写真センター^㉑、SHED(現代アートギャラリー)^㉒、マトゥムット芸術センター^㉓などの現代アートセンターや毎年開催される「festivals de Arts vivants-ライブアートの祭典」をぜひ訪れください。



歴史

野外こそ歴史を学ぶ書物

古代ギリ・ローマ都市ルーアンは、ローマ人によって川の右岸に建設されました。

中世、ルーアンは911年にノルマンディー公国の首都となり、ヴァイキングの酋長ロロンによって統治され、後に征服王ウィリアムや獅子心王リチャードを輩出しました。没入型のバイキング・シティ館では、ヴァイキング時代の壮大な世紀を体験することができます。

政治権力に加え、宗教権力もこの地域に足跡を残し、大聖堂^①やサン・ウァン修道院^⑦、サン・ジョルジュ・ド・ジュエヴィル修道院^⑬、ジュ・ミュージュ修道院^⑮などの強力な修道院が、その壮麗さを誇示し、勢力を拡大しました。まさに、ウィクトル・ユゴーはルーアンを「百の鐘樓の街」と呼んだのです。

また、ルーアンは、フランスで自治特権を得た最初の町のひとつでもあります。大聖堂の正面を進むと、ルネッサンス様式の市民のための鐘樓、大時計^②があります。

これらの朱塞も、飢饉、戦争、ペストの時代を防ぐことはできず、ルーアンに大きな爪痕を残しました。納骨堂に囲まれた、サン・マルク回廊^④は他では見られない遺産です。1431年ジャンヌ・ダルクが火刑に処されたのは旧市場広場です。ドンジョン^⑨は、フリッポ・オーギュストが建てた城の唯一の遺跡で、この地下牢は、その時代の証と

して、国家のヒロインの壮大な物語に触れることができます。⑩

同時代に、ルーアンのランドマークの一つとなった威厳と精巧さを備えたノルマンディー高等法院^⑤の建築や、オテル・ド・ブルルルード^⑥などの16世紀から18世紀の邸宅が建てられました。

19世紀、ルーアンでは産業革命が起こり、港湾活動が活発化しました。また、鉄道が開通し、セヌ河岸に鉄道の駅ができました。セヌ河岸はパカンス客たちが訪れ賑やになりました。また、エルブツ市などの町で紡績業と労働者階級の居住区がこの地域を形成しました。

その後、第二次世界大戦はこの地域に大きな爪痕を残しましたが、復興期には、トゥール・デ・アーカイブ公文書館^⑪などの大胆な建築と再開発が行われました。1976年、ルーアン裁判所の修復中に、フランス最古のユダヤ人記念碑であるメソンの・スプリム・崇拝堂^⑫の遺跡が発見されました。その後修復され、ルーアン都市圏メトロポールの協力で、その素晴らしい建造物の保存が行われています。ルーアン市には「芸術と歴史の街」というレベルが与えられ、11世紀から現在に至るまでの素晴らしい建造物が残されています。



産業

産業発展の過程

ルーアンは、16世紀以降、貿易、織物、陶磁器製造が発展し、セヌ渓谷産業の中心地となりました。現在には陶磁器博物館^⑰で、ファイアー・アートギャラリー^⑤でご覧いただけます。ルーアンとエルブツは、独自の工芸、工場を持ち産業発展の先駆的な町でした。

19世紀のフランス産業革命に賢る、織物、港湾、土器、化学工業など、主要産業はすべて、この町にありました。そうした主要産業は、セヌ川を大動脈として、首都と海の間に位置するこの町の恵まれた立地に誘惑されたのです。

サン・シル水車の裏手には、蒸気機関、鍛冶屋、活版印刷工房などのユニークなコレクションを所蔵するエクスポゼ^⑲103産業博物館^㉑があります。ルイ14世の毛織物工場があったエルブツ市は、19世紀後半に大きな発展を遂げました。エルブツは、そう遠くない時代の名残を最もよく保存した地域で、ファブリック・デ・サヴォワール産業館^㉒やサウス・ラ・リネール^㉓のあるプラン & プラン工場など、産業遺産の歴史的な改装が施されています。ユード・ヴァロワ組紐産業館^㉔は、色とりどりのローボビ製織機が並び、まさに生きた博物館です。

ルーアンの産業遺産は、年にヨーロッパ有数の穀物輸出港である今にも息づいており、その巨大なサイロや巨大な船は、ガイド案内付きクルーズでセヌ川から眺めることができます。

港の玄関口であるフローベール橋^㉕は、ヨーロッパで最も高い吊り橋であり、川沿いに並ぶ古いレンガ造りの倉庫や潮位時計の背景となっています。これらの倉庫群のひたひたには、セヌ川と海上における航海の歴史をたどる河川・海洋・港湾博物館^㉖があります。

科学の分野では、ノルマンディーにおける科学、技術、産業の発見がアトリウム科学館^㉗で紹介されています。



コードリー・ヴァロワ組紐産業館

自然

荘厳なセヌ川

私たちの頭の中には、リンゴの木、牛、かごいっぱい農産物など、豊富なノルマンディーのイメージがあります。おらかな自然、緑豊かなノルマンディーが目の前に広がっています。

セヌ川は世界で最も美しい川のひとつであり、ルーアンの生活とは切っても切り離せないものです。セヌ川沿いをサイクリングすることは、川岸の豊かな自然を発見する最高の方法です。パリと英仏海峡を結ぶセヌ川のサイクリング・ルート(Seine à Vélo)は、ルーアンを横断する100キロ、22の市町村を結んでいます。熟練したサイクリストであれ、アマチュアであれ自然を満喫しながらのサイクリングをお楽しみいただけるでしょう。

セヌ渓谷はまた、いくつかの渡し舟のポイントがあることも有名です。歩行者や車で対岸に渡ることができます。セヌ川の風景のもうひとつの特徴は、周囲の広大な森林です。ルーアンのどこにいても、森から遠く離れることはありません。ノルマンディーの首都ルーアンの周辺は、フランスの中でも森が最も多い地域と言われています。その国有林のうち3つが、国が「例外的な森(Forêt d'Exception)」というラベルを授けられています。イノシシが生息する4,000ヘクタール

のルーラルの森、1,400ヘクタールのヴェルテの森、5,000ヘクタールのラ・ロンド・ル・ヴレーの森は、ご家族皆様で散策をお楽しみいただけます。

この地域の景観を理解するには、高いところに登って、ルーアンの最も美しいパノラマとブール・ド・ラ・セヌ・ノルマント地域公園を発見してください。サント・カトリヌの丘^㉘とカントルー^㉙からは、息をのむようなパノラマが広がり、セヌ川、森林に覆われた丘陵、白亜の崖に挟まれた街の成り立ちを理解することができます。

ノルマンディー悪魔宮、ロベール・ル・ディアブルの城^㉚からロンド・ル・ヴレーの森、ロッッシュ・フェ・ド・リヴラール^㉛まで、セヌ渓谷の壮麗な眺めを楽しむことができます。エルブツ市のサン・オーグの丘^㉜やベルブツ市のサン・アドリアンの丘からは、セヌ川とその周囲の森の息を呑むような眺めをご覧ください。

デュクレールとバリエヴィル・シムル・セヌ^㉝には、フローリ街道、ジュ・ミュージュ・余暇を楽しむ、自然の中で泳げる自然・パークを見渡せる展望台があります。ノルマンディーの首都ルーアンの南には、ベダヌのレジャーセンターがあり、ウォータースポーツを楽しむことができます。



ラ・ロッッシュ・フェ・パノラマ

ガストロノミー

ユネスコの栄冠に輝くガストロノミー

ノルマンディーは、シードル、チーズ、ホタテなど、豊富な食材にあふれる食の宝庫です。果樹園や世界最高級の食卓にのる食材、籠から血まで、ルーアンはユネスコの「美食の創造都市」ネットワークに選ばれています。このネットワークは、持続可能な取り組みと、優れたガストロノミーを推進する都市の努力を評価するものです。

ルーアンでは、美食は歴史的建造物の豊かな遺産と切っても切れない関係にあります。地元産の食材を味わうことは、ルーアンの歴史とルーツに還るようです。レストランの数が650を超えるこの街では、美味しい食文化が育まれています。ルーアンのシアタたちは、ノルマンディーの味に新鮮なクリエイティビティを注いでいます。その中でもクラブ・ド・テック料理協会は、ルーアンのトップシェフや食に関する職人を集め、この街の豊かな美食遺産の継承と保存に尽力しています。

また、毎年ルーアンでは、家族で楽しめるイベント、フェット・デュ・ヴァントル・お腹のお祭りで開催されています。何世紀にもわたってグルメの人たちを魅了させてきたルーアンの特産品の一つが、水、砂糖、カラメル、リンゴとレモンの香料から作られるシュクル・ド・ルーアンです。その製造工程を見学することができます。

19世紀にフレデリック・ドゥレールによって考案された有名なレシピ「カナール・アラ・ル・アネーズ・ルーアン風小鴨料理」の実演もあります。この料理は、パリで最も有名なレストラン、ラ・トゥール・ダールジャンの名物料理にもなりました。生産者や特産品に出会える市場で、地元の食材の恵みを発見してください。ルーアン市民に人気のあるサン・マルク広場の市場では、地元の農産物や骨董品を楽しむことができます。

フローリ街道は、セヌ川をぐるりと囲むように、色とりどりの果樹園が点在し、リンゴ、ナシ、サクラソボの木が、恵まれた気候の恩恵を受けています。果物は「現地」で買うことができます。生産者と直接話をすることもできます。また、こういった現地の体験は、35kmのサイクリングルート(標識あり)の途中でお楽しみいただけます。



陶磁器博物館

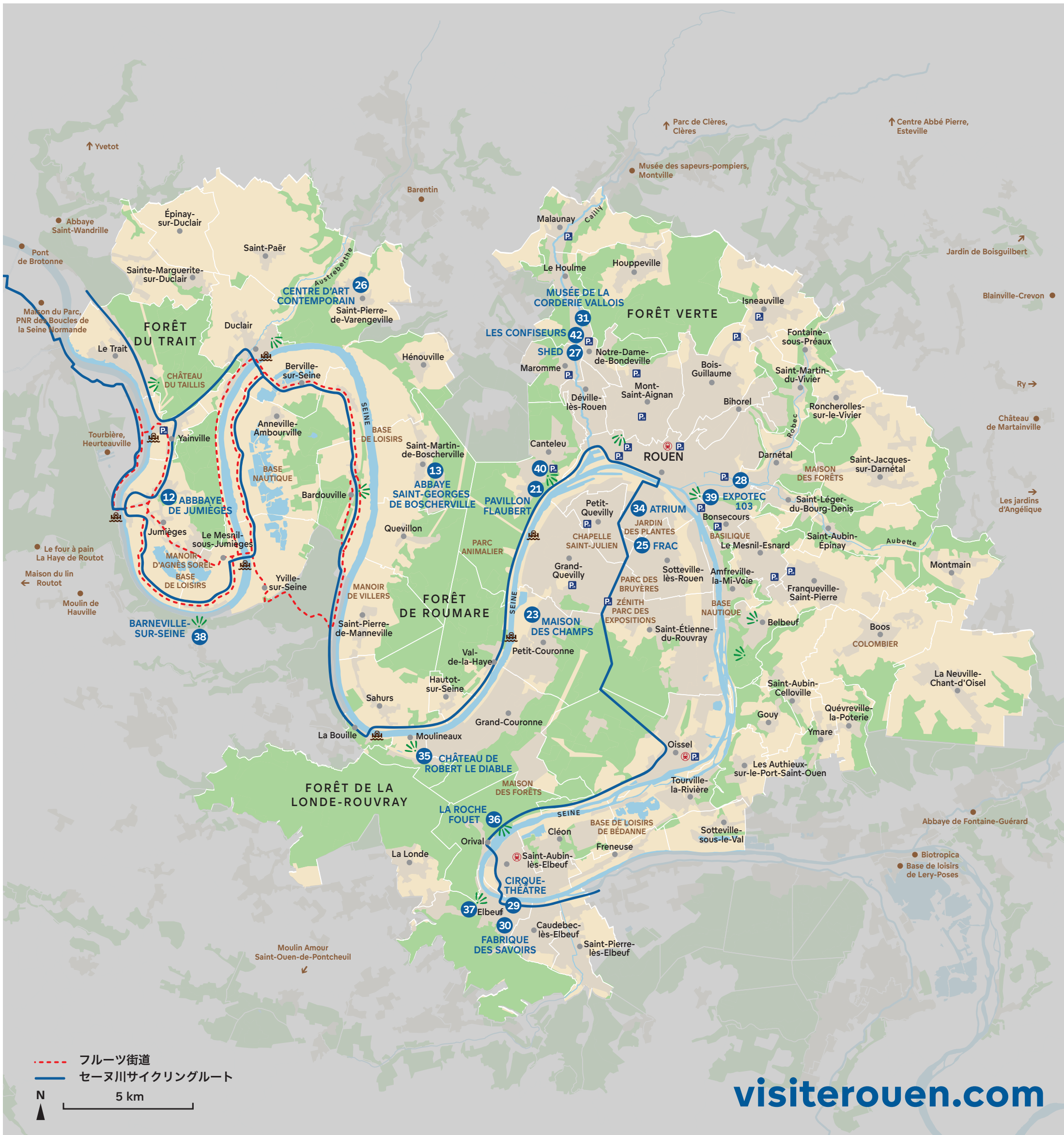
- ルーアン大聖堂
- 大時計
- サン・マルク教会
- サン・マルク一回廊
- フィアー・アート・ギャラリー
- 裁判所/崇高な家
- クロード・モネのアトリエ旧財務局
- サントゥアン修道院教会
- ブートルド・ホテル
- ルーアン城跡・ドンジョン
- ジャンヌ・ダルク歴史館
- 聖ジャンヌ・ダルク教会
- ジュミエージュ修道院
- サン・ジョルジュ・ド・ボッシュェヴィル

- 修道院
- ルーアン美術館
- セック・デ・トゥルネル鉄工芸術博物館
- 陶磁器博物館
- 自然史博物館
- 考古学博物館
- 教育博物館
- フロベールと医学の歴史博物館
- フロベール橋
- ピエール・コルネユの生家
- ピエール・コルネユの田舎の家
- 建築センター
- FRAC(現代アート財団)
- マトゥムット現代美術センター
- SHED(現代アートギャラリー)
- エクスポテック103産業館
- サカス・演劇場
- ファブリック・デ・サヴォワール産業館
- コルデルー・ヴァロワ組紐産業館
- フロベール橋
- 海洋河川・港湾博物館
- アトリウム科学館
- ローベル・ル・ディアル城のバラマ
- ラ・ロッシュ・フエのバラマ
- エルブッフのバラマ
- バヌスグール・シュル・セヌのバラマ
- サント・トリヌの丘
- カントールのバラマ

- キャンピングカーエリア
- セヌ川渡し舟
- 映画館
- バス降車場
- タクシー
- 鉄道駅
- 病院
- レンタサイクル
- リバーシャトル船
- 観光案内所
- バラマ
- パークキング
- バス乗り継ぎパークキング
- 警察
- テオールメトロバス
- 劇場
- 公衆トイレ
- フルーツ街道
- セヌ川サイクリングルート
- M メトロ
- T4
- T1 T2 T3 T5 T6 T5

ルーアンとセヌ渓谷を訪れる

- 1日目**
街のいたるところにある歴史建造物や文化遺産
- **現地ガイドまたはオーディオガイドによるルーアン市内観光** ルーアン・ノートルダム大聖堂、大時計、サン・マルク地区、旧市場広場など、見逃さない場所がたくさんあります。
- **ルーアンのシンボル、大時計** 大時計の屋上から、ルーアン中心で唯一ご覧いただける街のバラマビューをお楽しみください。
- **ジャンヌ・ダルク歴史館** 大司教座に設置された記念館、ラ・ビュセル乙女・ジャンヌ・ダルクの歴史に浸ることができます。
- **ルーアン美術館** 印象派のギャラリーや偉大な芸術家たちの作品を無料でご覧いただけます。
- **ルーアン風小料理**をご賞味ください。この世界的に有名な伝統的レシピは、7つのレストランで提供されています。このお料理は事前のご予約が必要です。
- **光の大聖堂** 6月から9月にかけて、大聖堂の前で光のプロジェクション・マッピングが上演されます。ファサードに映し出される音と光のショーは驚きの美しさです。
2日目
都市の玄関口にある緑の田園地帯
- **サンマルタン・ド・ボッシュェヴィルの修道院教会と庭園** ボッシュェヴィルとジュミエージュの修道院は、ノルマンディーで最も古いベネディクト派修道院のひとつで、壮大な建築物です。



visiterouen.com

- セヌ川のコンコルト地域を川沿いにサイクリング、**フルーツ街道**の生産者を訪ねます。フルーツ街道の生産者たちに出会い、「現地販売」の野菜や果物を味わいましょう。
- **デュクレールのタイユ城**にある**1944年8月戦争記念館**を見学。
- **セヌ川の渡し舟**に、徒歩、自転車、車で乗り、対岸まで行ってみましょう。渡し舟は無料です。
- 作家エクトール・マロの生れた村であり、印象派の画家たちにインスピレーションを与えた風光明媚な場所、**ラ・フィユ**の町に立ち寄ってみましょう。
- 古い港の倉庫が立ち並ぶルーアンの**セヌ河岸**を散策 現在では、レストラン、バー、レジャー施設など、さまざまなお店が軒を連ねています。
- ルーアンの街並みを一望できる**サント・カトリヌの丘**のバラマビューから夕日を眺めましょう。
3日目
冒険として体験すべき産業遺産
- **公共交通機関、電車、自転車、セヌ川沿いサイクリングロードでエルブッフ市と出立**
- **エルブッフ**では、中世の遺産と産業遺産が建築で発見できます。昔の建物に**サーカス・演劇場やファブリック・デ・サヴォワール産業館**が作られました。
- リトルマンチエスターと呼ばれる、**カイ・リッパ**へ出発 19世紀の産業を、コードリー・ヴァロワ組紐産業館で体験できます。
- シュルク・ド・ルーアンというルーアン名物の製造が唯一行われている。ノートルダム・ド・ボンデュイル市にある綿工房跡、**レ・コンフィヤージュ**の工房ディックを訪ねてみましょう。



聖ジャンヌ・ダルク教会

- スポーツ試合を観戦** サッカー、ホッケー、野球、ラグビー、バスケボールのクラブが全国大会や国際大会で輝き、生き生きと活躍しています。
4日目
偉大な芸術家たちの足跡
- **ルーアン出身の作家たちの足跡** 何世紀にもわたり文学界を彩ってきた作家たちの足跡が残っています。**ピエール・コルネユの生家とフィア・クロノアの出産の家**、クロワッセにあるギュスターヴ・フロベールの家、とルーアン市内にあるフロベールと医学の歴史博物館を訪問、インタラクティブ・アプリケーション「Flaubert is not dead」でこのルーアン出身の作家の足跡をたどることができます。
- ルーアンのペール・ラシェーと呼ばれる、**ルーアン墓地**へも足を延ばしてみよう。
- 有名な**特産品街**で一休み サン・マクル地区の中心にある、アン・テックショップを訪れましょう。芸術家、職人、骨董品ディーラーが集まっています。芸術愛好家の方のの会話を楽しみ、掘り出し物探しをしてみてもいいでしょう。
- サンマルク一回廊では、フィアー・アートギャラリーで陶芸と彫刻のワークショップが行われています。
- **陶磁器博物館とセック・デ・トゥルネル鉄工芸術博物館**の見学 世界最大のコレクションを誇る鉄工芸術博物館です。
- ルーアンの多くの会場で、一年中アーティストが公開、**コンサートやスペクタクル**が開催されています。ぜひお楽しみください。

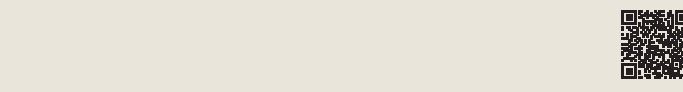


セック・デ・トゥルネル鉄工芸術博物館

旅の体験

- ルーアン観光案内所のスタッフがお客様をお迎えし、滞在を本物の体験にするためのアドバイスをいたします。また、ルーアン観光案内所では、サイクリングコースや徒歩での散歩、公共交通機関を利用した旅程、おすすめのレストラン、美しい自然スポットなど、さまざまな情報を提供しています。お好きな時にアクセスできるチャットボットを備えたウェブサイトからも、豊富な情報や提案にアクセスできます。また、観光局のショップも覗いてみてください。美味しい地方産品やギフトのアイデアが満載です！
オーディオガイド
オーディオガイドを聞きながら、ルーアンの歴史地区や主なモニュメントを訪れたり、ジャンヌ・ダルクの足跡をたどったりしてみませんか。

- 感性を刺激
現地ガイドと一緒にルーアンを訪れ、通りやモニュメントを探索しながら、歴史や驚くような逸話を聞きながら散策してみませんか。また、たいてい驚きの出会いとなるでしょう。ご当地グルメを堪能し、文化遺産に触れるお散歩を楽しんだり、スポーツと観光を組み合わせたカルチャーキングに参加したり、見逃せないスポットで感覚的、音楽的、芸術的な体験をしてみたり…ルーアン観光局は、あなたの感性を刺激する思いでに残る旅のお手伝いをいたします。



ルーアン・バス

- ルーアンの街とセヌ渓谷の観光をご自分のペースで、お好みやご希望に合わせて様々な体験をお楽しみください。
ルーアン・バスは、観光、宿泊、交通、美食など、この地域の豊かな魅力を発見するシンプルな方法です。
24時間、48時間、72時間、お好きなパッケージをお選びください！Eカードはアプリケーションから直接ダウンロードできます。ルーアン・バスのアプリはiPhoneとAndroidでご利用いただけます。
バスで
長距離バス・ターミナルはルーアン市内シャンプラン通りです。ターミナルは、バスF1とF7 乗り場
Champlain駅 メトロバス
Joffre-Mutualité6駅下車
ポート停泊所
中心部に近い海洋港にある船停泊所は、町の中心に近いサンジェルベ地区にあり、ポートやヨット愛好家が必要とするすべてのサービスと快適なサービスを提供しています
rouenportdeplaisance.fr
公共交通機関(有効なバス乗券)、電車(乗車券)、自転車をご利用になったことを証明するものを提示いただくと、ガイド案内ツアーやオーディオガイドツアーが10%割引になります。

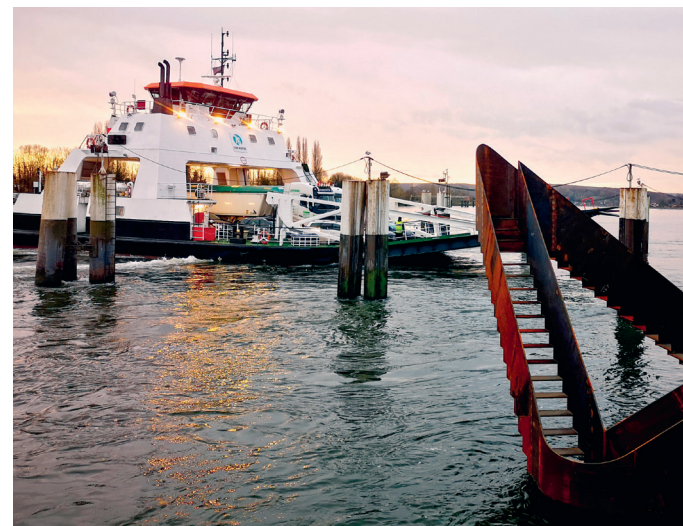


ROUEN PASS

24h 48h 72h

デュクレール

- ブール・ド・ラ・セヌ自然公園への入り口で、フルーツ街道の起点であるデュクレールは、ルーアン近郊の自然に恵まれた土地にあります。ルーアンにほど近い修道院ルートに位置するデュクレールは、その文化遺産を中心にし、14の発見ポイントルートで探索するのがお勧めです。セヌ川の渡し舟乗り場からも、美しい景観を楽しむことができます。デュクレールから、フランスで最も有名なセヌ川を見渡すパノラマは驚きの美しさです。また、オーストラベル川を跨ぐグリーンロードを、道沿いの木々組みの家やレンガ造りの家々の古い建築様式を眺めながら散策してください。また、街中に点在するストリート・アートも見逃せません。デュクレール産物はカナル・ド・ルーアン・ア・



ラ・フィユ

- ラ・フィユの町は、ポール・ゴーギャン、アルフレッド・シスレー、アルベール・ブルル、そしてウィリアム・ターナーなど、偉大な画家たちにインスピレーションを与えた魅力的な村です。彼らの作品は世界の有名な美術館やルーアン美術館の印象派ギャラリーで鑑賞することができます。「家なき子」の作者エクトール・マロの生家があるセヌ河岸を文学散策はいかがでしょう。ラ・フィユの町を訪れ、セヌ川から眺めるには、ルーアンから遊覧船に乗るか、ルーアンから自転車で川沿いを通り、渡し舟に乗って行くことができます。セヌ川のサイクリング・ルートでは、工業地帯や港、白亜の崖、ノルマンディーの牧草地など、牽引路と呼ばれる川沿いの遊歩道を通りながら様々な風景を楽しむことができます。



- ルーアン観光案内所
ルーアン美術館
Esplanade Marcel Duchamp
76000 Rouen
Tél. +33 (0)2 32 08 32 40
accueil@rouentourisme.com
開館時間
10月~4月
月曜~土曜、9時30分~18時(火曜は10時30分~)
学校バカンス期間
日曜、月曜休館
7月~9月
営業時間: 毎日9時30分~12時30分、13時30分~18時(火曜は10時30分~)
日曜、月曜休館
エリブッフ市観光インフォメーション
La Fabrique des savoirs 内
7 cours Gambetta
76500 Elbeuf
Tél. +33 (0)2 32 96 30 40
デュクレール市観光インフォメーション
デュクレール市役所内
Mairie, place de Général de Gaulle
76480 Duclair
Tél. +33 (0)2 35 05 91 50
問合所
36 rue du Bac
Tél. +33 (0)2 32 18 60 15
営業時間
月曜~金曜、9時15分~12時30分、13時30分~18時15分(土曜は16時30分まで)

ジュミエージュ

- ジュミエージュは、今は壮大な遺跡となったサン・ピエール修道院教会で有名です。修道院教会付属の建物は17世紀に建てられた小さな城館で、現在は、ピュジャール・アートとコンテンポラリー写真のためのスペースになっています。
アルセヌ・ルパンの生みの親であるモリス・ルブランは、ルーアンに生まれ、ジュミエージュ修道院の向かいにある19世紀の邸宅で夏のバカンスを過ごしました。現在は郵便局と観光案内所になっていますが、「クリオトル伯爵夫人」などの小説に登場する多くの場面、お話に出てくる陰謀や逸話にインスピレーションを与えています。ジュミエージュ沿いのセヌ川の蛇行



エルブッフ・シュル・セヌ

- ルーアンの南に位置し、セヌ川と森に囲まれたエルブッフ・シュル・セヌ市は、類まれな自然環境に恵まれています。4世紀初めにわたる建築物から受け継いだ豊かな産業遺産を持っています。エルブッフ・シュル・セヌ市の旧市街地には、木組みの家や古い市場跡が立ち並んでいます。町の中心部にある遺産パノラマをご覧ください。旧プラン・フランシス場内に作られたファブリック・デ・サヴォワール産業館、コレクションには、植物の起源から機械化まで、植物に関する多くのコレクションが展示されています。常設で博物館演出が素晴らしいミュージアム・スペースで展示されています。



大時計